

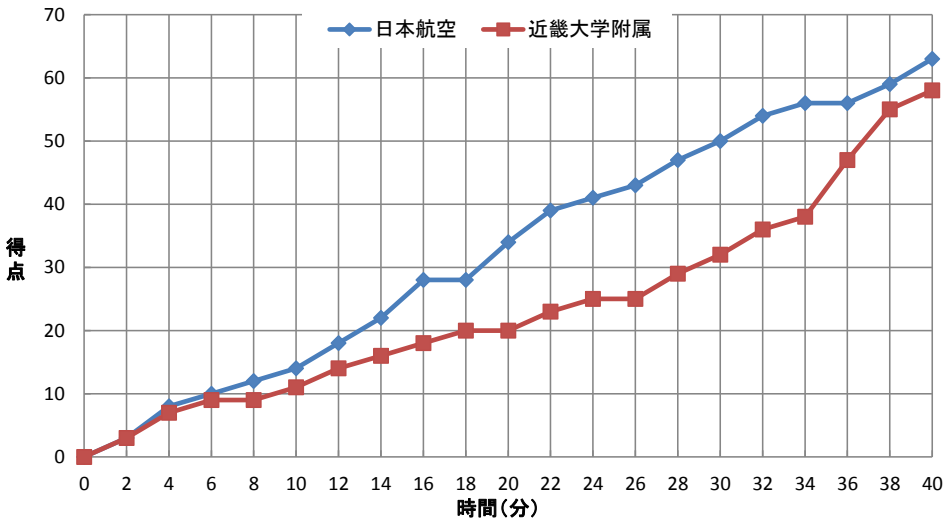


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男 子							平成28年7月28日							16:10 開始						
1 回戦							安佐北区スポーツセンター							H						
◎ 日本航空 (山梨県)							63 141st11 202nd9 163rd12 134th26							58 近畿大学附属 (大阪府)						
番号	氏 名		得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名		得点	3P	2P	FT	反則					
* 4	阿比留 怜		19	2	5	3	2	4	中村 幸介		0	0	0	0	2					
5	永田 蓮		-	-	-	-	-	5	山下 雅輝		-	-	-	-	-					
6	瀬尾 翔		-	-	-	-	-	6	坂中 暁		5	0	2	1	2					
* 7	ZHANG ZIJU		17	1	6	2	1	7	池田 彪吾		6	0	3	0	5					
* 8	小石 璃音		12	0	6	0	2	* 8	本田 大河		4	0	2	0	1					
* 9	宮田 大倭		8	0	4	0	2	* 9	吉川 薫		3	0	1	1	3					
10	WANG ZHENYI		0	0	0	0	0	* 10	鴻田 侃汰		3	1	0	0	0					
11	後藤 涼輔		1	0	0	1	0	11	小田 翔太		0	0	0	0	0					
12	古田 哲平		0	0	0	0	2	12	篠原 大貴		0	0	0	0	0					
* 13	神谷 璃空		6	1	1	1	3	* 13	能登 慎也		16	4	2	0	3					
14	福井 徹平		0	0	0	0	0	* 14	柳原 捷彦		20	2	7	0	2					
15	竹元 陸		-	-	-	-	-	15	井出 偲龍		1	0	0	1	1					
コーチ	西原 哲大						0	コーチ	大森 健史						0					
Aコーチ	小野 凌							Aコーチ	三星 佳史											
合 計			63	4	22	7	12	合 計			58	7	17	3	19					
主審: 甲斐 清																				
副審: 斉藤嶺																				

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	19:53	:	35:53	:	:	:	:	:	:
TeamB	15:37	19:04	26:12	31:36	39:30	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、日本航空はマンツーマン、近畿大学附属はオールコート2ー2ー1ゾーンプレスからマンツーマンでゲーム開始。序盤、日本航空#7のシュートや#8の速攻に対し、近畿大学附属は#13や#14のシュートでともに得点し、一進一退の攻防。中盤からは両チームとも得点が止まり、近畿大学附属は2分52秒流れをつかむためにオールメンバーチェンジを行うも波に乗れない。反対に日本航空は#7の力強い1対1で得点につなげ、14対11と日本航空リードで終了。

第2P、近畿大学附属#8の3Pシュートで始まるも、すぐに日本航空は#7のバスケットカウントで応戦。その後、日本航空#8のジャンプシュート、#7のリバウンドシュートに対し、近畿大学附属#14のシュート、交代出場#6のジャンプシュートで応戦。両チームとも譲らず、再びシーソーゲームの展開。試合が動き出したのは、4分23秒。日本航空が#8のインターセプトから3Pシュートを決め、28対18と10点リードしたところで、近畿大学附属が最初のタイムアウト。タイムアウト後、近畿大学附属は流れを引き戻すために、激しい2ー2ー1ゾーンプレスを仕掛け、幾度となくスティールするが、なかなか得点につながらない。反対に日本航空は#4のインターセプトとドライブインからのバスケットカウント、#9のゴール下シュートで連続得点し、34対20と日本航空リードで前半終了。

第3P、流れを変えたい近畿大学附属は#9のバスケットカウントでスタートする。しかし、日本航空は#7のゴール下シュートや#4の3Pシュート、#8のジャンプシュートで応戦する。近畿大学附属は#10や#6が3Pシュートを放つがゴールにきられ得点が伸びないが、日本航空は#4が3Pシュートを決め、46対25とリードを広げる。その後、近畿大学附属は#7のドライブインやオールコート1ー2ー1ー1ゾーンプレスにディフェンスを変化させ食いが下がるも、なかなか点差が縮まらず、50対32と日本航空リードで終了。

第4P、両チームともに得点が伸び悩む中、残り時間5分を切ったところから試合が動き出す。近畿大学附属は#14と#13による5連続3Pで、一気に58対53まで点差を詰め勢いに乗る。日本航空もタイムアウトで対応するも、近畿大学附属の勢いは止まらない。近畿大学附属#7のドライブイン、#6のバスケットカウントで、ついに58対59と1点差までつめよる。しかし、残り時間30秒で、勝負を仕掛けた近畿大学附属が痛恨のファール。チームファール5つにより日本航空#4に2ショットが与えられる。これを冷静に2本決めた日本航空が、58対63で逃げ切り勝利した。

戦評: 吉津孝昭

記録: 可部高校